

平成15年度再評価対象事業一覧表(河川課)

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択年度	経過年数	区分	事業費進捗率	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
				全体事業費C(百万円)				うち用地進捗率		
1	広域基幹河川改修事業	飯尾川	徳島市 石井町 鴨島町	L=24,100m 河道拡幅 C=23,490百万円	S34	45		事業費 71% 用地 81%	当河川の流域には、徳島市、石井町、鴨島町の市街化区域を含んでおり、洪水による被害は甚大なものとなる。これまでに、2箇所(約15km)の放水路を含む約15kmの整備が概成しており、一定の被害軽減効果が発現されている。しかし、全体計画延長が長く、相当の未改修区間が残っていることから、早期改修に対する地元からの要望が強い。 平成35年度の完成を目指している。	継続
2	広域基幹河川改修事業	園瀬川	徳島市	L=7,515m 築堤 C=16,500百万円	S21	58		事業費 75% 用地 81%	徳島市の市街化区域を含む当河川の流域においては、度々浸水被害にみまわれており、被害軽減のため早期改修が望まれている。また、流域内では徳島南環状道路の整備が進められており、流域の浸水に対する安全度向上のため整備促進を図る。 平成25年度の完成を目指している。	継続
3	広域基幹河川改修事業	多々羅川	徳島市	L=4,560m 河道拡幅 C=7,000百万円	S54	25		事業費 59% 用地 69%	下流から約3.2kmが完成しており、浸水被害の軽減が図られている。しかし、上流域においては、以前として浸水被害が発生している状況であり、改修を進める必要がある。 平成25年度の完成を目指している。	継続
4	広域基幹河川改修事業	桑野川	阿南市	L=9,750m 河道拡幅 C=14,000百万円	S31	48		事業費 89% 用地 95%	平成11年の洪水を契機として改修が促進され、全体計画延長約9.8kmの護岸整備が概成している。主な残工事としては、河床掘削が残っており、下流直轄管理区間の流下能力向上にあわせて実施する。早期事業完成について、地元から強い要望がある。 平成20年度の完成を目指している。	継続
5	広域基幹河川改修事業	那賀川	鷲敷町	L=2,300m 築堤 C=3,347百万円	S48	31		事業費 44% 用地 70%	現在までに河床掘削、左岸護岸が完成し、河川の流下能力は向上している。しかし、残工事として、中山川、北地川の支川処理が残っており、洪水氾濫から流域を守るため、工事を完成させる必要がある。 平成23年度の完成を目指している。	継続
6	広域基幹河川改修事業	撫養川	鳴門市	L=7,100m 河道拡幅 C=12,300百万円	H1	15		事業費 81% 用地 74%	全体計画延長7.1kmのうち撫養川工区3km、新池川工区1.9kmが概成している。残る新池川工区においては、洪水の流れを阻害している橋梁を早期に改築する必要があり、用地取得に対する地元の協力も得られている。 平成23年度の完成を目指している。	継続
7	広域基幹河川改修事業	勝浦川	徳島市 小松島市	L=8,200m 築堤 C=5,200百万円	S11	68		事業費 86% 用地 97%	全体計画延長8.2kmのうち約8kmが概成しており、流域の浸水被害軽減が図られている。残工事としては、主に河積を阻害している堰の改築のみとなっており、早期事業完成に向けて、地元からの要望も強い。 平成20年度の完成を目指している。	継続
8	広域基幹河川改修事業	田野川	小松島市	L=4,480m 河道拡幅 C=6,800百万円	S52	27		事業費 96% 用地 98%	全体計画延長約4.5kmのうち約3.9kmが完成している。河川改修により流域の浸水被害が軽減しており、事業完成に向けて地元からの要望も強い。 平成18年度の完成を目指している。	継続
9	広域基幹河川改修事業	政所谷川	小松島市	L=1,070m 築堤 C=700百万円	H4	12		事業費 11% 用地 20%	合流先である田野川の河川改修が進んでおり、流域内の浸水被害を軽減するため、河積狭小である当河川を早期に改修する必要がある。改修については、地元からの強い要望がある。 平成20年度の完成を目指している。	継続
10	広域基幹河川改修事業	立江川	小松島市	L=2,439m 河道拡幅 C=2,850百万円	S63	16		事業費 88% 用地 82%	これまで下流から約1.7kmの整備が概成しており、特に景観に配慮した護岸整備については、地元の評価が高い。今後、上流未改修区間の浸水被害軽減のため、整備促進を図る。 平成20年度の完成を目指している。	継続

評価対象事項の ~ の区分

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
 その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

別添様式

平成15年度再評価対象事業一覧表(河川課)

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択年度	経過年数	区分	事業費進捗率		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
				全体事業費(C(百万円))				うち用地進捗率			
11	統合一級河川整備事業	ほたる川	山川町	L=3,280m 河道拡幅 C=4,010百万円	S 4 9	30		事業費 62% 用地 87%	流域内で都市化が進展している。(国道192号沿いの商業化の進展) 約1,800mが完了し下流部の浸水被害が減少している。 未改修区間の河道が狭く浸水被害が多発している。 平成25年度の完成を目指している。	継続	
12	統合一級河川整備事業	川田川	山川町	L=2,460m 河道拡幅 C=1,392百万円	H 1	15		事業費 83% 用地 25%	改修の進展に伴い宅地化が進展している。 約1,800mが完了し中流部住宅地の浸水被害の低減が図れた。 護岸が脆弱で危険なため、早急な改修が必要である。 平成20年度の完成を目指している。	継続	
13	統合一級河川整備事業	江川	鴨島町	L=4,100m 河道拡幅 C=3,366百万円	S 5 1	28		事業費 85% 用地 67%	流域内で都市化が進展している。(工業団地の建設、下水道事業関連) 暫定掘削により約3,700mが完了し浸水被害が減少している。 喜来地区において河道が狭く流下阻害となっている。 平成19年度の完成を目指している。	継続	
14	統合一級河川整備事業	前川	藍住町	L=1,474m 河道拡幅 C=2,496百万円	S 5 6	23		事業費 93% 用地 99%	流域内で都市化が進展している。(徳島市、鳴門市のハッドタウン化) 約1,100mが完了し住宅地の浸水被害の低減が図れた。 上流部において河道が狭く浸水被害が多発している。 平成19年度の完成を目指している。	継続	
15	統合一級河川整備事業	岡川	阿南市	L=3,400m 築堤 C=2,360百万円	S 4 6	33		事業費 16% 用地 25%	上流部において宅地化が進展している。 河川認定地の問題や地籍の混乱で用地取得に日時を要している。 河道が狭く、浸水被害が多発している。 平成35年度の完成を目指している。	継続	
16	統合一級河川整備事業	大津田川	阿南市	L=1,350m 河道拡幅 C=1,000百万円	S 4 5	34		事業費 47% 用地 86%	直轄による床上浸水対策緊急事業が進行中である。 用地交渉が難航しており、上流へ事業進捗が図れない状態にある。 河道が狭く、浸水被害が多発している。 平成20年度の完成を目指している。	継続	
17	統合二級河川整備事業	穴喰川	穴喰町	L=3,560m 築堤 C=2,153百万円	S 3 7	42		事業費 54% 用地 57%	近年の水害に伴い地元の事業評価が高い。 約2,600mが完了し下流住宅地の浸水被害の低減が図れた。 馳馬地区において浸水被害が多発している。 平成25年度の完成を目指している。	継続	
18	統合二級河川整備事業	福井川	阿南市	L=6,500m 築堤 C=4,950百万円	S 5 6	23		事業費 70% 用地 52%	福井ダムが平成7年に完了している。 左岸側大西地区において内水被害、右岸側椿地区においては越流氾濫が多発し、早急に改修を進める必要がある。 平成25年度の完成を目指している。	継続	
19	統合二級河川整備事業	奥潟川	日和佐町	L=1,900m 築堤 C=1,848百万円	S 4 4	35		事業費 82% 用地 87%	近年の水害に伴い地元の事業評価が高い。 千羽口橋下流までの約1,700mが完了し下流住宅地の浸水被害の低減が図れた。 千羽口橋付近において浸水被害が発生している。 平成19年度の完成を目指している。	継続	

評価対象事項の ~ の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

平成15年度再評価対象事業一覧表（河川課）

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択 年度	経過 年数	区分	事業費進捗率		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応 方針
				全体事業費 C(百万円)				うち用地進捗率			
20	紀伊水道高潮対策	多々羅川	徳島市	排水機場15m ³ /s 水門2連 C=3,160百万円	S50	29		事業 用地	74% -	流域のほとんどが市街化区域であり徳島市の中心部にも近く宅地化が進行。排水機場の完成で内水被害は軽減されつつあるが、現水門が流下能力不足であるため水門改築への要望が強い。 平成18年度完成を目指している。	継続
21	紀伊水道高潮対策	冷田川	徳島市	排水機場16m ³ /s 水門2連 C=約2,950百万円	S49	30		事業 用地	95% -	流域のほとんどが市街化区域であり徳島市の中心部にも近く宅地化が進行。排水機場の完成で内水被害は軽減されつつあるが、現水門が流下能力不足であるため水門改築への要望が強い。 平成17年度完成を目指している。	継続
22	海岸侵食対策	今津坂野海岸	小松島市 那賀川町	L=6.6km 大規模突堤21基 緩傾斜堤防L=1,248m C=約11,000百万円	S36	43		事業 用地	60% -	海岸背後地域の都市化が進行。（国道55号BPの供用に伴う開発）大規模突堤と消波ブロックにより越波の危険性が低減され、海岸侵食の進行が抑えられている。 平成26年度完成を目指している。	継続
23	海岸侵食対策	鳴門海岸	鳴門市	L=3.6km 人工リーフ7基 離岸堤1,029m C=3,520百万円	S47	32		事業 用地	82% -	海岸線沿いにリゾート開発が進行している。 離岸堤と人工リーフ施工箇所越波の危険性が低減され、海岸侵食が止まり砂浜は復元しつつある。 平成20年度完成を目指している。	継続

評価対象事項の ~ の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

平成15年度再評価対象事業一覧表（道路建設課）

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元		事業採択年度	経過年数	区分	事業費進捗率 うち用地進捗率	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
				L	W						
24	道路改築事業	一般国道195号 (出合大戸バイパス)	上那賀町	L=2,200m、W=6.0(8.0)m C=6,650百万円	H6	10		事業費 74% 用地 71%	高知県と連絡する幹線道路であり、震災時の緊急輸送路として、また地域の生命線道路として重要であるが、度重なる山腹崩壊等により早期整備の要望が強い。平成15年度に第1期工区が部分供用しており、残る第2期工区の平成20年度供用を目指す。	継続	
25	道路改築事業	一般国道319号 (山城拡幅)	山城町	L=4,470m、W=6.0(11.0)m C=10,300百万円	S58	21		事業費 88% 用地 100%	愛媛県と連絡する幹線道路であり、震災時の緊急輸送路として、また地域の唯一の生活道路として整備が重要であり、地元要望も強い。H14年度までにL=3.6kmを部分供用をしており、残る国道32号付近の川口地区の改良工事を促進している。平成18年度全線供用を目指す。	継続	
26	道路改築事業	一般国道438号 (上八万バイパス)	徳島市～ 佐那河内村	L=5,500m W=6.5(11.0～18.0)m C=8,500百万円	S63	16		事業費 46% 用地 63%	徳島市と佐那河内村を連絡する幹線道路であるが、大木交差点付近で慢性的な交通渋滞が発生するなど早期整備の要望が強い。本年度は、中山地区に続いて花房地区が完成供用する予定であり、また大木地区においても用地取得に着手するなど確実に整備が進んでいる。平成25年度完成供用を目指す。	継続	
27	道路改築事業	一般国道438号 (森遠拡幅)	木屋平村	L=4,400m、W=6.0(10.0)m C=8,100百万円	S60	19		事業費 84% 用地 90%	震災時の緊急輸送路として、また地域の唯一の生活幹線道路として重要であり、地元の要望も強い。平成16年度には谷口地区の木屋平小学校までの区間 L=0.5kmを供用する予定であり、残る区間についても平成21年度完成供用を目指す。	継続	
28	道路改築事業	一般国道492号 (穴吹バイパス)	穴吹町	L=1,300m、W=6.5(15.0)m C=3,500百万円	H6	10		事業費 63% 用地 82%	穴吹町と木屋平村を連絡する幹線道路であるが、穴吹町中心市街地を通過する現道は幅員狭小で歩道も未設置のため、地元町村が市町村合併を促進する観点からもバイパス道路の早期整備を要望している。平成20年度完成供用を目指す。	継続	
29	道路改築事業	(一)宮川内牛島 停車場線	吉野町～ 鴨島町	L=3,160m W=6.5(14.0～20.0)m C=15,000百万円	H6	10		事業費 88% 用地 88%	平成15年度末に西条大橋を含む区間L=2,080mを部分供用する予定であり、これにより潜水橋の抜水化が図られるが、さらに安全で快適な通行の確保、南北軸の道路交通網強化を図る必要があり、平成19年度供用を目指す。	継続	

評価対象事項の - の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

別添様式

平成15年度再評価対象事業一覧表（都市計画課）

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択 年度	経過 年数	区分	事業費進捗率	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応 方針
				全体事業費 C(百万円)				うち用地進捗率		
30	街路事業	(都)常三島中島田線	徳島市	L = 3,773m W = 26.0m C = 34,580百万円	S 57	21		工事 94.6% 用地 96.1%	既に4車線化が完了した沿道地域においては、急速な沿道商業施設の立地進展が見られるなど、道路整備に伴う経済波及効果が現れている。また、周辺住民や道路利用者からも本路線の整備に対する多くの賛同意見と早期完成への要望を得ており、平成15年度に完了期間宣言を行い、平成17年度末の完成供用を目指している。	継続
31	街路事業	(都)元町沖洲線	徳島市	L = 2,689m W = 22.0、32.0m C = 26,610百万円	S 47	31		工事 86.2% 用地 92.0%	マリンピア沖洲の二期事業に加え、徳島東環状線や四国横断自動車道も事業中であることから、これらの有効活用を図る意味でも本路線の早期完成が望まれている。また、本路線の周辺地域における土地利用は、住宅を主体としながら小中学校、高校等の文教施設が集中するといった状況であるが、本路線の完成が遅れることで交通の細街路流入などによる良好な住環境や安全な交通環境を損なうことの無いように、生活幹線道路としての機能からも早期に完成させる必要があり、平成15年度に完了期間宣言を行い、平成18年度末の完成供用を目指している。	継続
32	街路事業	(都)東吉野町北沖洲線	徳島市	L = 2,882m W = 21.0m C = 14,200百万円	S 56	22		工事 81.3% 用地 82.1%	事業中の(都)元町沖洲線、徳島東環状線や四国横断自動車道等との道路網形成による円滑なモビリティ確保を図る上で本路線の早期完成が望まれている。また、本路線の周辺地域では、マリンピア沖洲(流通施設)並びに宅地化が著しく交通需要が増大し、交通渋滞や生活道路の通過交通による安全性低下などの問題が生じており、良好な住環境の形成ならびに物流の効率化のためにも、早期に完成させる必要があることから、残る用地の促進に努めるとともに工事進捗を図り、平成19年度の完成供用を目指している。	継続
33	都市公園事業	日峯大神子広域公園	徳島市～ 小松島市	A = 152.2ha テニスコート 16面 展望広場、こども広場 散策路等 C = 10,300百万円	S50	28		工事 88% 用地 79%	テニスコート、キャンプ場、こども広場、散策路等の64.5haを供用しており、子供からお年寄りまで多くの方が、スポーツ、バーベキュー、遊具を使った遊び、散策等様々な利用をしている。今後は、主に緑地や景観を保全し、自然を楽しみながら健康を保持し心を癒す散策路等の充実を図る予定である。完成は平成23年を目指している。	継続

評価対象事項の～の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
- その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

平成15年度再評価対象事業一覧表（砂防防災課）

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元		事業採択年度	経過年数	区分	事業費進捗率 うち用地進捗率	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
				全体事業費 C(百万円)							
34	地すべり対策事業	京上	東祖谷山村	ホ-リング排水工 L=10,000m 水路工 L=1,290m C=580百万円		H 6	10		76% -	当地区は東祖谷山村の中心部に位置し、地区内には村役場やサービスセンター、国道439号等がある。未整備ブロックでは道路擁壁等に変状が見られ、地すべり活動が継続しているため、引き続き対策が必要である。なお完了は平成17年度を予定している。	継続
35	地すべり対策事業	西浦	井川町	ホ-リング排水工 L=14,290m 水路工 L=1,140m C=606百万円		H 6	10		76% -	当地区は井川町内の国道192号から南へ3kmのところに位置し、保全対象には井内小学校、井内幼稚園、一般県道大利辻線等がある。地すべり現象の見られる未整備ブロックが残っており、引き続き対策が必要である。なお完了は平成19年度を予定している。	継続
36	地すべり対策事業	加茂山	三加茂町	ホ-リング排水工 L=23,500m 水路工 L=1,350m 集水井 N=3基 C=1,133百万円		S 6 2	17		72% -	当地区は三加茂町内の国道192号から南へ3kmのところに位置し、保全対象には絵堂小学校、災害弱者施設の絵堂幼稚園、一級河川加茂谷川等がある。地すべり現象の見られる未整備ブロックがあることから、引き続き対策が必要である。なお完了は平成20年度を予定している。	継続
37	地すべり対策事業	有瀬	西祖谷山村	ホ-リング排水工 L=12,200m 水路工 L=1,750m アンカー工 _N=310本 C=1,490百万円		S 4 6	33		93% -	当地区は高知県境の吉野川右岸に位置し、規模の大きな地すべり区域で、保全対象には有瀬小学校、村道等がある。対策工の施工により地すべり現象は沈静化しつつあるが、一部に未だ動きが見られる。当地区は吉野川本川及び支川の境川に接するため治水上の重要度が高く、引き続き対策が必要である。なお完了は18年度を予定している。	継続

評価対象事項の ~ の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

別添様式

平成15年度再評価対象事業一覧表(港湾課・港湾開発課)

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元	事業採択年度	経過年数	区分	事業費進捗率		事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
				全体事業費 C(百万円)				うち用地進捗率			
38	海岸環境整備事業	徳島小松島港海岸 (横須金磯地区)	小松島市 金磯町	護岸:L=760m 遊歩道:A=3,330㎡ 植栽:A=460㎡ 突堤:N=2.0基 C=600百万円	S63	15		工事 36% 用地 100%	事業着手後、地権者との交渉が難航し、平成11年度までの間、休止状態にあったが、その交渉が妥結したことで、平成12年度に事業再開した。平成17年度完了を目指す。	継続	
39	港湾改修事業	徳島小松島港 (赤石地区)	小松島市	岸壁(-7.5m)1バース130m 岸壁(-5.5m)2バース200m ふ頭用地 A = 5.5ha C=8,170百万円	H5	10		工事 94%	徳島小松島港「赤石地区」において、係留施設、ふ頭用地、臨港交通施設を整備し、現在も解消されていない係留施設水深の不足や、ふ頭用地不足等に起因して発生している非効率な輸送体系を改善し、物流機能の向上を図る。平成19年度の供用に向けて、必要な施設の整備を進めていく。	継続	
40	港湾改修事業	徳島小松島港 (沖洲地区)	徳島市	L = 1,410m W = 13.0(27.0)m C=3,690百万円	H5	10		工事 57% 用地 100%	マリニピア沖洲と背後市街地の幹線道路(国道11号)とを結び、人流や物流の円滑化を図ることにより、マリニピア沖洲の発展に寄与する。また、マリニピア沖洲立地企業への通勤による周辺市街地の慢性的な交通混雑の解消に寄与し、更に将来高速道路が供用した際に流入する交通を円滑に処理するためにも必要である。事業効果を早期發揮するため、平成24年度供用を目指している。	継続	

評価対象事項の - の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

平成15年度再評価対象事業一覧表（河川総合調整チーム）

番号	事業名	路線名・河川名等	市町村名	基本諸元		事業採択年度	経過年数	区分	事業費進捗率 うち用地進捗率	事業を巡る社会経済情勢・地元状況の変化等	対応方針
				全体事業費 C(百万円)							
41	河川総合開発事業 (柴川生活貯水池)	柴川谷川	山城町	L=108m H=40.0m 総貯水容量 252千m3		H 4	12		事業費 32%	本事業は地元山城町、流域住民の理解と協力を得ながら、当流域の洪水防御と水道用水の確保等を目的に進めています。特に水道用水においては、不安定な溪流取水に頼らざるえない状況にあり、流域住民は生活貯水池の早期完成により、水道用水がより安定的に供給されることを待ち望んでいます。平成20年度の完成を目指している。	継続
42	貯水池保全事業	長安口ダム	上那賀町	貯砂ダム 1基 砂防堰堤 2基 工事進入路 1式 陸揚場 1式 C = 5,000 百万円		H 4	12		事業費 29%	荒谷の自然環境を保全する観点から同事業について多様な意見があり、県は工事を中断し、調査や環境保全策の検討を行ってきたが、今後流域の合意形成を図ることは難しい状況である。	中止

評価対象事項の ~ の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
- 事業採択後一定期間(10年間)を経過した時点で継続中の事業箇所
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
- その他、社会経済情勢の変化等により見直しが必要な事業箇所
- 再評価後5年間を経過した事業(下水道は10年)

再評価実施事業一覧表（農業農村整備事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（％）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費	受益面積	その他						
				百万円	ha							
1	かんがい排水事業	かみいた上板	上板町	1,578	278.0	排水路 1,060m	H.6	10		20	本地区の排水状況は、現在高志川の周辺低平地で洪水の度に湛水被害を生じ、農作物に多大な影響を与えている。その要因は、老朽化した六条暗渠の通水能力不足であり、本事業により排水条件を改良し、生産性の高い農業経営の実現を図る。	継続
2	かんがい排水事業	そえだに 曾江谷	脇町	6,877	290.0	ダム工 1ヶ所 管水路 13,800m	S.55	23		91	本地区は、曾江谷川沿岸の中山間地域にあり古くから畑作が行われてきたが農業用水に恵まれず、収益性の高い畑作物の栽培が困難であった。そこで、ダムにより農業用水を確保し、畑かん施設を整備することにより収益性の高い農作物を導入し、農業経営の安定が図られた。	継続
3	畑地帯総合整備事業	さとうら 里浦	鳴門市	4,494	300.0	畑かん 300ha 排水路 3,305m 排水機場 2ヶ所 農道等	H.1	15		67	本地区には水源が無く天水のみにより農業が行われているため、干ばつ時には減産を余儀なくされている。そこで国営事業に水源を求め、農業用水の確保と畑地の施設整備を行うことにより産地としての地位強化を図る。	継続
4	経営体育成基盤整備事業 (ほ場整備事業)	とみおまうぶ 富岡東部	阿南市	3,497	115.0	区画整理115.0ha	H.6	10		94	ほ場整備を実施することにより営農の効率化が図られるとともに、洋にんじん等の野菜作導入により、生産性の高い農業への転換が図られている。また、農業生産組織を中心とした担い手への農地集積が進んでおり、効率的かつ安定的な農業経営が確立されつつある。	継続
5	経営体育成基盤整備事業 (ほ場整備事業)	たつえくしぶち 立江榑淵	小松島市	6,352	234.0	区画整理234.0ha	H.6	10		87	ほ場整備を実施することにより営農の効率化が図られるとともに、排水不良が解消され、それに伴いブロッコリー等の野菜作の導入が可能となっている。また、併せて担い手への農地集積も進んでおり、効率的かつ安定的な農業経営が確立されつつある。	継続
6	経営体育成基盤整備事業 (ほ場整備事業)	かいふがわさ 海部川左 岸	海南町	1,679	58.0	区画整理58.0ha	S.61	18		97	中山間地域に点在する農地を整備することにより営農の効率化を図るとともに、高齢化、過疎化が進んでいる地域において、農業の担い手を育成、確保することにより地域農業の活性化を図る。	継続
7	経営体育成基盤整備事業 (ほ場整備事業)	かいふ 海部	海部町	2,570	104.0	区画整理104.0ha	S.62	17		97	中山間地域に点在する農地を整備することにより営農の効率化を図るとともに、高齢化、過疎化が進んでいる地域において、農業の担い手を育成、確保することにより地域農業の活性化を図る。	継続
8	経営体育成基盤整備事業 (ほ場整備事業)	みのばやし 見能林	阿南市	8,600	343.0	区画整理343.0ha	S.63	16		99	ほ場整備を実施することにより営農の効率化が図られるとともに、洋にんじん等の野菜作導入により、生産性の高い農業への転換が図られている。また、農業生産組織を中心とした担い手への農地集積が進んでおり、効率的かつ安定的な農業経営が確立されつつある。	継続
8-1	経営体育成基盤整備事業 (ほ場整備事業)	ばんどう 板東	鳴門市	507	35.0	区画整理35.0ha	H.8	8		7	平成8年度に事業採択後、ほ場整備の実施に向けて県、市、土地改良区で鋭意地元調整を図ってきたが、換地計画策定の難航等により事業への合意形成が得られず、工事の実施に至っていない。	中止
9	ため池等整備事業 (河川応急)	いまやま 今山	勝浦町	330	57	取水堰工 1式 取水樋門工 1式 護床工 1式 護岸工 1式	H.6	10		96	勝浦町においては近年、世帯数、人口及び耕作面積とも減少傾向にあるが、中山間地域の持つ国土保全機能等の社会的な価値や役割は重要であり、条件不利地への取り組みを積極的に進めなければならない。このため、本事業の実施により農業用河川工作物の損傷に起因する被害を未然に防止し、農業経営の安定を図るものであり、受益農家並びに勝浦町も早期完成を強く要望している。 平成16年度完了予定	継続

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所

事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所

事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所

その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所

再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（農業農村整備事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（％）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費	受益面積	その他						
				百万円	ha							
10	地すべり対策事業	てらの3き 寺野3期	山城町	337	66	排水路工 1,000m 承水路工 870m 排水ホ-リング 2,870m 土留工 7ヶ所	H 5	1 1	98	本地区は三好郡山城町中北部に位置する中山間地帯であり、世帯数、人口及び耕地面積とも減少傾向にある。このため、土止工を中心とした地すべり対策により被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに山城町も早期完成を強く要望している。 平成17年度完了予定	継続	
11	地すべり対策事業	いのかしら 猪の頭	神山市	232	36.7	排水路工 860m 承水路工 93m 排水ホ-リング 182m アンカー工 5箇所	H 6	1 0	94	本地区は名西郡神山市東部に位置する中山間地帯であり、人口はもちろん耕地面積なども減少傾向にある。このため、アンカー工を中心とした地すべり対策により被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに神山市も早期完成を強く要望している。 平成16年度完了予定	継続	
12	地すべり対策事業	きたくらめ 北倉目	神山市	217	17.5	排水路工 765m 承水路工 101m 排水ホ-リング 525m アンカー工 2箇所	H 6	1 0	86	本地区は名西郡神山市中北部に位置する中山間地帯であり、世帯数、人口及び耕地面積とも減少傾向にある。このため、排水対策を中心とした地すべり防止工事の実施により被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに神山市も早期完成を強く要望している。 平成16年度完了予定	継続	
13	地すべり対策事業	あおき 青木	山川町	138	17.2	排水路工 813m 排水ホ-リング 385m 土留工 1ヶ所	H 6	1 0	99	本地区は麻植郡山川町中部に位置する中山間地帯端部の地すべり地域であり、その影響が平野部にまで拡大する懸念がある。このため、排水路を中心とした地すべり対策により被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに山川町も早期完成を強く要望している。 平成16年度完了予定	継続	
14	地すべり対策事業	むねだ 宗田	美郷村	259	66.3	排水路工 888m 杭打工 1ヶ所 土留工 1ヶ所	H 6	1 0	61	本地区は麻植郡美郷村中部に位置する中山間地帯であり、世帯数、人口及び耕地面積とも減少傾向にある。このため、杭打工などの地すべり抑止工を中心とした対策で被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに美郷村も早期完成を強く要望している。 平成17年度完了予定	継続	
15	地すべり対策事業	まつふね 松舟	井川町	173	19.8	排水路工 1,730m 承水路工 440m 排水ホ-リング 1,000m 土留工 4ヶ所	H 6	1 0	82	本地区は三好郡井川町南部に位置する中山間地帯であり、世帯数はもちろん耕地面積なども減少傾向にある。このため、排水改良並びに抑止工の実施により地すべりに起因する被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに井川町も早期完成を強く要望している。 平成18年度完了予定	継続	
16	地すべり対策事業	いのくぼ 井ノ久保	池田町	439	108	排水路工 3,510m 承水路工 690m 排水ホ-リング 290m 堰堤工 3ヶ所 土止工 10ヶ所	S 5 9	2 0	85	本地区は三好郡池田町西部に位置する中山間地帯であり、人口、世帯数だけでなく耕地面積なども減少傾向にある。このため、排水対策を中心に抑止工も合わせた地すべり防止工事により被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに池田町も早期完成を強く要望している。 平成16年度完了予定	継続	
17	地すべり対策事業	みなみだに 南谷	池田町	400	68.4	排水路工 2,740m 承水路工 955m 排水ホ-リング 810m 床固工 1ヶ所 土留工 2ヶ所	S 6 1	1 8	97	本地区は三好郡池田町南部に位置する中山間地帯であり、世帯数、人口及び耕地面積とも減少傾向にある。このため、排水対策を中心とした地すべり防止工事により被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。受益農家並びに池田町も早期完成を強く要望している。 平成16年度完了予定	継続	

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所

事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所

事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所

その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所

再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（農業農村整備事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・受益面積等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（％）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	受益面積 ha	その他						
18	地すべり対策事業	よりひろさがん 頼広左岸	山城町	347	31.1	承水路工 1,095m 排水ホ-リング 950m 土留工 4箇所 集水井工 1箇所 雑工事 1式	S 6 2	1 7		79	本地区は三好郡山城町北部に位置する中山間地帯であり、人口はもちろん耕地面積なども減少傾向にある。このため、排水改良並びに抑止工の実施により地すべりに起因する被害を未然に防止し、農業経営の安定を図ることが重要である。農家並びに山城町も早期完成を強く要望している。 平成18年度完了予定	継続
19	地盤沈下対策事業	まつしげ 松茂	松茂町	700	80.0	揚水機場 2箇所 管水路工 1,773m 用水路工 67ha	H 6	1 0		57	本地区は近年における高速道路網の進展に伴い、京阪神方面への生鮮食糧基地としての期待がますます高揚している。このため、地盤沈下に伴う農業用水の通水障害を解消し、土地利用の高度化と生産性の高い農業経営の展開を図ることが重要であり、受益農家や松茂町も本事業の早期完了を強く要望している。 平成18年度完了予定	継続
20	海岸環境整備事業	なかがわさがん 那賀川左岸	那賀川町	630		遊歩道 2,640m 進入路 2,640m 護岸工 70m 突堤工 90m 施設整備工 1式	H 6	1 0		52	海浜部の特性を生かした健康作りや心身のリフレッシュ空間として、また来訪者と地域住民との交流拠点としての海岸環境整備が待たれている。このため、本事業の実施により誰もが親しめる総合的な地域の憩いの場作りが重要であり、関係住民や那賀川町も本事業の早期完了を強く要望している。 平成18年度完了予定	継続

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
 その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本緒元（全体事業・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	延長 m						
21	峰越連絡林道事業（森林基幹道）	ゆとうひらいせん 湯桶平井線	木頭村 海南町	2,654	1,898	10,419	H5	10		27	森林の適正管理を行う上で林道の担う役割は非常に大きい。この林道は、木頭村と海南町を連絡する唯一の路線であるため、施業や災害時に国道193号線の緊急の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。 平成20年度完了予定	継続
22	林道開設事業（森林基幹道）	おいやみかもせん 小祖谷三加茂線	三加茂町 西祖谷山村	5,700	2,004	25,460	S47	31		68	森林の適正管理や労働環境の改善について林道の担う役割は非常に大きい。この林道は、三加茂町と西祖谷山村小祖谷地区を連絡し、森林の適正な管理のみでなく、生活環境の改善、災害等の緊急時の迂回路としても利用でき、この地域の骨格的林道として、地元からの要望は非常に強い。 平成23年度完了予定	継続
23	〃	こやだいらきせん 木屋平木沢線	木屋平村 木沢村	4,821	1,431	22,400	S48	30		85	林業就労者の高齢化・労働不足等により手入れが実施されていない森林が多く見られ、森林の公益的機能の低下が叫ばれている。こうした状況下で、広大な森林の適正な施業や管理、効率的な林業経営を進めていく上で、また、生活環境の改善、緊急時の迂回路として路網整備が急がれ、地元からの要望も非常に強い。 平成24年度完了予定	継続
24	〃	おがわたいらせん 小川平線	山城町	5,880	2,392	34,286	S54	24		94	広大な森林の施業を実施するための高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている地域である。小川地区、平野地区、尾又地区、粟山地区を連絡するなど生活基盤の改善をはかり、また、緊急時の迂回路としても重要な路線で、地元からの早期開設要望が非常に強い。 平成20年度完了予定	継続
25	〃	あかぼうしせん 赤帽子線	一宇村	1,750	1,231	11,560	S61	17		40	森林の適正管理や労働環境の改善について林道の担う役割は非常に大きい。この林道は、一宇村実平地区と一宇村桑平地区を連絡する路線であり、森林の適正な管理のみだけでなく災害等の緊急時の迂回路となるなど、この地域の骨格的な役割を果たし、地元からの要望は非常に強い。 平成21年度完了予定	継続
26	〃	かわさきくにみやません 川崎国見山線	池田町 山城町 西祖谷山村	5,223	2,623	20,840	S61	17		41	この林道は、山城町と西祖谷山村を連絡する路線であり、広大な森林の適正な施業のみでなく、労働環境、生活環境の改善、緊急時には国道32号線の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。 平成27年度完了予定	継続

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
 その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本緒元（全体事業・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	延長 m						
27	林道開設事業（森林基幹道）	いわくらせみたにせん 岩倉蟬谷線	木沢村 木頭村	3,550	1,808	19,340	S62	16		63	森林の適正な管理、労働環境や生活環境の改善を行う上で林道の担う役割は大きい。この林道は、木沢村と木頭村を最短距離で連絡する路線であり、災害等の緊急時には迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。 平成18年度完了予定	継続
28	"	ながやすかいかわせん 長安海川線	上那賀町	3,993	2,097	30,404	S62	16		62	森林の適正な管理、労働環境や生活環境の改善を行う上で林道の担う役割は大きい。この林道は、上那賀町大戸地区と上那賀町海川地区を連絡する路線であり、災害等の緊急時には国道193号・195号線の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。 平成25年度完了予定	継続
29	"	いくみやうじせん 生実八重地線	上勝町	3,500	1,288	17,700	S62	16		45	森林の適正な保全・管理を行う上で林道の担う役割は非常に大きい。肥沃な一大林業地帯を形成しているこの地域の、上勝町生実地区と八重地地区を連絡する骨格的な林道で適正な森林整備のみでなく、生活道として、八重地地区の緊急時の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。 平成28年度完了予定	継続
30	"	ひわちあきせせん 日和茶坂瀬線	西祖谷山村 東祖谷山村	3,578	3,269	32,700	H2	13		42	広大な地域の森林整備を効率的に実施するための骨格的役割を果たす林道で、西祖谷山村坂瀬地区と東祖谷山村落合地区を連絡し、労働環境の改善、生活環境の改善、災害等の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。 平成24年度完了予定	継続
31	"	げしはやしだにせん 下司林谷線	上那賀町	2,606	702	13,795	H3	12		24	この林道は、上那賀町下司地区と上那賀町下用地地区を連絡する路線であり、効率的な森林施業を推進するとともに、生活環境の改善、災害等の国道195号線の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。平成20年度完了予定	継続
32	"	おおがわらあさひまるせん 大川原旭丸線	上勝町 神山町 佐那河内村	2,800	1,177	16,240	H3	12		55	森林の適正な管理、労働環境や生活環境の改善を行う上で林道の担う役割は大きい。この林道は、3町村にまたがる路線であり、各林道支線と連絡することにより、山林への通勤時間短縮・木材搬出コスト低減等により、地元からの要望は非常に強い。 平成17年度完了予定	継続

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
 その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本緒元（全体事業・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	延長 m						
33	林道開設事業（森林基幹道）	かじやまうだせん 梶山内田線	穴吹町	3,473	1,867	22,412	H4	11	48	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られ、森林の公益的機能の低下が叫ばれている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。平成20年度完了予定	継続	
34	〃	いひつこしせん 石吹越線	宍喰町	3,890	3,299	34,708	H4	11	45	この林道は、この地域の骨格的林道として広大な森林の整備のみでなく、災害の多発する県道久尾穴喰浦線の迂回路及び久尾地区の緊急避難路となることから、地元からの要望は非常に強い。平成19年度完了予定	継続	
35	〃	たにやまうだせん 谷山霧越線	上那賀町 海南町 日和佐町	2,300	1,282	12,800	H4	11	66	森林の適正な管理、労働環境や生活環境の改善を行う上で林道の担う役割は大きい。この林道は、3町の町境を中心とし国道193号線と県道日和佐・上那賀線を連絡する路線であるため、地元からの要望は非常に強い。平成20年度完了予定	継続	
36	〃	へがわちやません 辺川内山線	相生町	2,197	732	10,495	H4	11	87	森林の適正な管理、労働環境や生活環境の改善を行う上で林道の担う役割は大きい。この林道は、相生町平野地区と相生町内山地区を連絡する路線であり、災害等の緊急時には県道竹ヶ谷鷲敷線の迂回路としても利用できるため、地元からの要望は非常に強い。平成17年度完了予定	継続	
37	〃	よこいたにやません 横石谷山線	相生町 上那賀町	3,240	1,163	18,100	H5	10	35	森林の適正な管理、労働環境や生活環境の改善を行う上で林道の担う役割は大きい。この林道は、国道193号線と県道日和佐・上那賀線を連絡する路線であるため、地元からの要望は非常に強い。平成25年度完了予定	継続	
38	〃	たのうちつえたてせん 田野内杖立線	穴吹町 木屋平村	3,462	1,339	19,850	H5	10	33	森林の適正な管理、労働環境や生活環境の改善を行う上で林道の担う役割は大きい。この林道は、生活環境の改善、檜原地区の緊急時の迂回路となることから、地元からの要望は非常に強い。平成18年度完了予定	継続	

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
 その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（森林整備事業・県事業）

番号	事業名	路線名	町村名	基本緒元（全体事業・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	延長 m						
39	林道開設事業（森林基幹道）	ほしここうべまるせん 星越神戸丸線	上那賀町 木頭村	2,787	755	16,200	H5	10		34	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られ、森林の公益的機能の低下が叫ばれている。この林道は、上那賀町と木頭村の町境を中心とした連絡道であり、道路網の幹線となることから、地元からの要望は非常に強い。 平成18年度完了予定	継続
40	〃	しもみょうあわやません 下名栗山線	山城町	4,124	1,593	21,300	H5	10		72	林業を取り巻く環境も林業就労者の高齢化・労働不足等が重なり、手入れ不足の森林が多く見られ、森林の公益的機能の低下が叫ばれている。こうした状況下で、高性能林業機械の導入、林業就労者の通勤時間の短縮等の改善を図るため、路網整備が急がれている。地元からの要望も非常に強い。平成21年度完了予定	継続

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
 その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（治山事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	町村名	基本緒元（全体事業・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	その他						
41	復旧治山事業	ひきだにごうち久井谷8号地	木頭村	3,200	202.50		S55	23		90	昭和51年台風17号により発生した久井谷川最上部の大規模崩壊地及び荒廃渓流の復旧・整備工事であり、下流域には人家、国道、村道、農地、ダム、学校、橋梁等の保全対象がある。平成19年度に完了予定。	継続
42	地すべり防止事業	みなみうえつの南上角	神山町	2,100	113.25		S55	23		66	平成12年に新たな地すべり現象が発生したことから、地すべり防止区域の追加指定を行ったことに伴う事業量の増。ブロック下流には、人家、弱者関連施設（老人ホーム等）、道の駅・温泉施設等の公共施設、国道、農地等多くの保全対象があることから、保全対策上重要な地域である。平成25年度に完了予定。	継続
43	地すべり防止事業	いしし白石	半田町	827	21.00		H1	14		71	平成14年に新たな地すべりブロックが発生したことによる事業量の増（アンカー工、杭打工、排水ボーリング工）。工事区域内には人家、農道、農地等の保全対象がある。平成18年度に完了予定。	継続
44	地すべり防止事業	あびる漆日浦	一宇村	2,754	154.37		S50	28		79	平成13年に新たな地すべりブロックが発生したことによる事業量の増（床固工、水路工、集水井工、排水ボーリング工）。工事区域面積が広く、地区内には人家、村道、農地等の保全対象がある。平成21年度に完了予定。	継続
45	地すべり防止事業	ひびぶ久敷	一宇村	1,274	117.80		S63	15		36	平成11年、14年に新たな地すべりブロックが発生したことによる事業量の増（集水井工、排水ボーリング工、杭打工）。工事区域内には人家、農地等、下流域には国道、村道等の保全対象がある。平成25年度に完了予定。	継続
46	地すべり防止事業	かしはら檜原	木屋平村	861	322.60		S51	27		60	平成11年、13年に新たな地すべりブロックが発生したことによる事業量の増（集水井工、排水ボーリング工、杭打工）。工事区域内には人家、農地等の保全対象がある。平成19年度に完了予定。	継続

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間を経過している事業箇所
 その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（治山事業・県事業）

番号	事業名	地区名等	町村名	基本緒元（全体事業・利用区域面積・延長等）			事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（%）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	利用区域面積 h a	その他						
47	地すべり防止事業	おくい奥ノ井	東祖谷山村	885	101.25		H1	14		76	平成7年に新たな地すべりブロックが発生したことによる事業量の増（水路工、排水ボーリング）。工事区域内には人家、農地、村道等の保全対象がある。平成20年度に完了予定。	継続

事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業箇所
 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業箇所
 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業箇所
 その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業箇所
 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業箇所

再評価実施事業一覧表（水産事業・県事業）

番号	事業名	漁港名等	箇所名	基本諸元（全体事業費・工種等）		事業採択	経過年数	区分	工事進捗率（％）	事業を巡る社会経済情勢の変化及び地元状況等	対応方針
				全体事業費 百万円	工種・数量						
48	海岸保全施設整備事業 （高潮対策）	つばきとまりぎょこうかいがん 榑泊漁港海岸	阿南市榑泊町	5,100	護岸 L=1,314m	S61	17		35	<p>当地区は、阿南市東部の榑泊半島北側の榑泊町に位置しており、急峻な山が海に迫る狭隘な土地に人家が密集している。当地区は、津波の影響を受けやすいIV字型湾にあり、昭和南海道地震津波（昭和21年）から50年以上が経過していること、また、近年各地で津波による被害が伝えられていることから、地元住民からは、以前にも増して事業の早期完成を強く求められているところである。</p> <p>当海岸の護岸は、老朽化が著しく、非常に不安定な状況となっている。このため、災害に対する安全性の確保等、民政の安定化を図る観点から、緊急性及び重要性の高い箇所から順次事業を実施しており、部分的に防護効果を上げているところである。</p>	継続

評価対象事項の区分

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業地区
- 事業採択後一定期間（10年間：林野5年間）を経過した時点で継続中の事業地区
- 事業採択後の準備・計画段階で5年間が経過している事業地区
- その他社会経済情勢の変化により再評価が必要となった事業地区
- 再評価後5年間を経過した時点で継続中の事業地区